

Tidal Enterprise Scheduler : 「jstack」を使用した Java スタック ダンプの取得

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Java の `jstack` コマンドを使用して Java のスタック ダンプを取得する方法について説明します。このプロセスは、Windows、Linux、およびUNIXで有効であり、Oracleを使用してどのTidalシステムでも1.6+日にJavaバージョンをSun。

前提条件

要件

シスコはJavaが実行されているオペレーティング システムのJavaの知識と知識があることが推奨されます。また、Java Java Development Kit (JDK) バージョン1.6+は、システムにインストールされている必要があります。

使用するコンポーネント

- SUN Java JRE 1.6+
- Sun Java JDK 1.6+

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

問題

ときどき、マスター ログにない低レベルのスレッド データ キャプチャをサポートする必要があります。

解決策

jstackツールを使用したJavaスタックダンプのキャプチャは、OracleのSunによって、次のステップを提供します。

注: Javaプロセスはjstackコマンドを実行するには、" Sun Java 1.6+を実行するJDKがシステムにインストールする必要があります。 [OracleのSun JDKをダウンロードします。](#)

1. Javaプロセスを実行しているマシンのプロセスID番号を確認します。Windowsマシンで、プロセスID番号を見つけるためにタスク マネージャを使用できます。具体的には、PIDはプロセスID番号です。この列が表示される[View >列>PID (プロセスID)]をクリックして追加します。OSで、EF ps -発行できます | grepコマンドUnixMasterプロセスIDを取得するには:

```
root@sunts06:/# ps -ef | grep UnixMaster
root 5452 5423 0 14:43:21 pts/14 0:00 grep UnixMaster
root 1868 1 0 Jun 09 ? 31:49 /usr/bin/java -DN=UnixMaster -DTI
DAL_HOME=/opt/TIDAL/master/bin/.. -Xms256m -Xm
root@sunts06:/#
```

2. Sun JDKがインストールされているbinディレクトリを必要とし、移動プロセスID番号があればPID {プロセスID番号}を持つjstack PID {コマンド}を発行します。これは画面にJavaスタック情報が表示されます。

```
root@sunts06:/# ps -ef | grep UnixMaster
root 5452 5423 0 14:43:21 pts/14 0:00 grep UnixMaster
root 1868 1 0 Jun 09 ? 31:49 /usr/bin/java -DN=UnixMaster -DTI
DAL_HOME=/opt/TIDAL/master/bin/.. -Xms256m -Xm
root@sunts06:/#
```

3. ファイルにスタック情報をリダイレクトするには、WindowsおよびLinux/UNIXの両方で機能するファイルの作成オプションの同じコマンドを実行する:

```
jstack {PID} > [filename.out]
```

関連情報

- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)